

2025年 第24週（6月9日～6月15日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 百日咳について
- 2 管内の感染症発生状況（百日咳以外のもの）
伝染性紅斑が流行レベル基準値を超え、警報レベルとなりました。
- 3 6月はエイズ予防月間です

I 百日咳について

県内では、今週105人（先週124人）の百日咳の報告があり、今年の累積患者数は1,545人となりました。今週当所管内での報告はありませんでしたが、今年の累積患者数は12人となっています。県内で今年発生した推定感染経路として、家族内感染が858人、学校内流行が273人報告されています。百日咳は主に患者の咳やくしゃみなどにより、しぶきに含まれる細菌を吸い込むことによって感染（飛沫感染）し、7～10日の潜伏期間を経て風邪症状がみられ、次第に咳の回数が増えて強くなります（約2週間）。その後、短い咳が連続的に起こり、咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるという症状を繰り返します（約2～3週間）。ワクチン未接種の乳幼児が感染すると、嘔吐や無呼吸を伴い、重篤化しやすいので注意が必要です。また、乳児期にワクチン接種を受けていても、終生免疫は得られないで、成長後に感染することがあります。予防として、咳エチケットなどの一般的な感染対策が有効となります。

<感染症に関する情報>

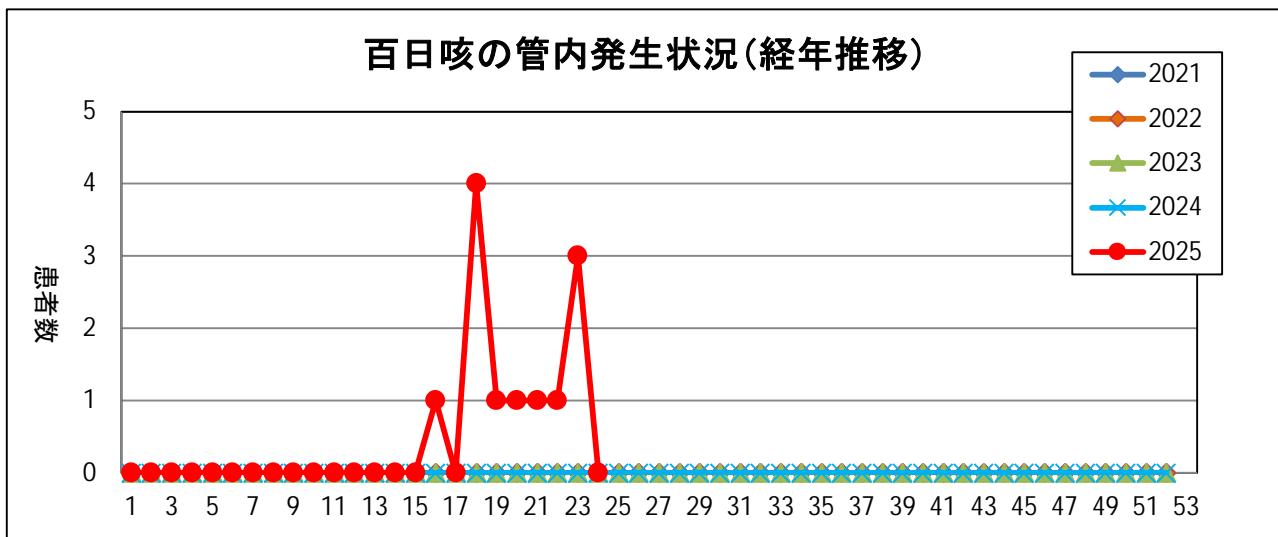
◆兵庫県ホームページ

百日咳について

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

百日咳

百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン（第三版）



2 管内の感染症発生状況（百日咳以外のもの）

（1）管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第24週は、報告はありませんでした。

（2）定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

（2025年24週）※定当：定点当たり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	4	2	9	4.5	-	-	-	-	5	2.5	3	1.5	5	1.67

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性結膜炎		無菌性結膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)		急性呼吸器感染症	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	170	56.67

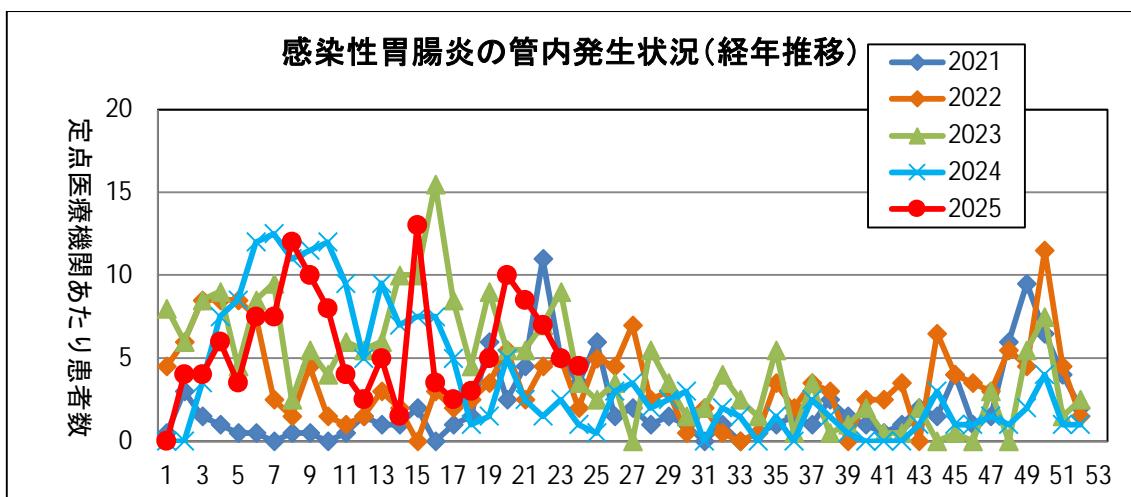
※2025年4月7日から急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

◆厚生労働省ホームページ

[急性呼吸器感染症\(ARI\)](#)

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が4.50人で、先週(5.00人)から減少し、兵庫県でも7.37人で、先週(8.52人)から減少しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

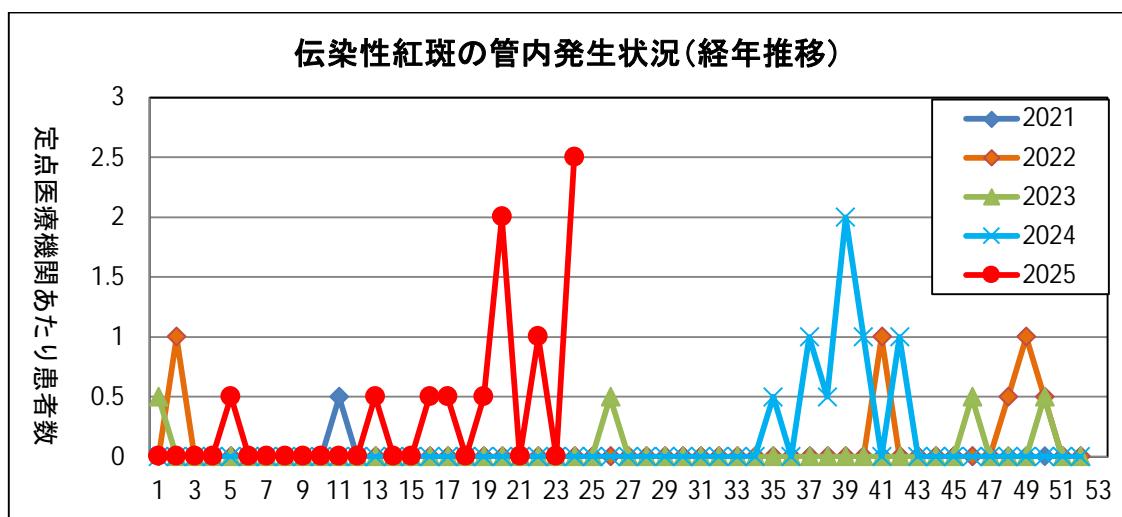
◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

[感染性胃腸炎](#)

また、管内の伝染性紅斑の定点あたり患者数は2.50人で、先週(0人)から増加し、流行レベル基準(2.00人)を超えたため、警報レベルとなりました。兵庫県では1.76人で、先週(1.88人)から減少しました。伝染性紅斑は、「ヒトパルボウイルスB19」による感染症で、両頬と手足の赤い発疹を特徴とし、頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれています。子どもに多い感染症ですが、大人が感染することもあります。頬に発疹が出現する7~10日前くらい前に、微熱や風邪症状が見られることが多く、この時期にウイルスの排泄量が最も多くなり、発疹が現れたときには感染力はありません。発疹のピークは3~4日目で、7~10日経つと次第に消えていきます。一度感染すると終生免疫が得られますが、過去に感染したことのない妊婦が妊娠中に初めて感染すると、赤ちゃんが胎児水腫という病気になることがまれにあるので注意が必要です。発疹が出現する前の時期に感染力があるため、手洗いやマスクの着用等、日頃からの基本的な感染対策が重要です。



<感染症に関する情報>

- ◆[兵庫県ホームページ](#)
- [伝染性紅斑について](#)
- ◆[国立健康危機管理研究機構ホームページ](#)
- [伝染性紅斑](#)

3 6月はエイズ予防月間です

兵庫県の2024年HIV感染者の新規報告数は16件、エイズ患者の新規報告数は11件、合わせて27件であり、前年(20件)より増加しています。日本においては、2023年の新規HIV感染者・エイズ患者報告数が960件で、7年ぶりに増加に転じました。また、HIVに感染していたことを知らずに、エイズを発症して初めて気づいたというケースが、新規HIV感染者・エイズ患者全体のうち約3割を占めています。

エイズの治療方法は進歩しています。HIVに感染しても、感染を早く知り、早期に治療を始め、継続することにより、エイズの発症を防いで健康的な社会生活を送ることができるようになっています。また、適切な治療を受け、血液中のウイルス量を抑え続けることができれば、性行為によって他者に感染することはないことがわかっています。早期発見と適切な治療がとても大切です。

- ・HIVに感染しているかどうかを調べるにはHIV検査を受けるしかありません。
- ・HIV感染初期には、検査ではわからない時期があります。感染の有無をはっきり確認したい時は、感染の可能性のある機会から3ヶ月以上たってから検査を受けてください。
- ・朝来健康福祉事務所では受診者のプライバシーに十分配慮した無料・匿名検査を実施し、HIV感染症・エイズや性感染症に関する相談も行っています。感染の心配が少しでもあればご相談ください。

〈朝来健康福祉事務所におけるエイズ検査（HIV抗体検査）〉

日時：毎月第1・3木曜日 13:30～14:30（予約制）

予約・相談：TEL 079-672-0555

＜感染症に関する情報＞

◆[兵庫県ホームページ](#)

[HIV・エイズに関する情報](#)

◆[朝来健康福祉事務所ホームページ](#)

[エイズ検査（HIV抗体検査）を受けましょう](#)

◆[\(公財\)エイズ予防財団ホームページ](#)

[エイズ予防情報ネット API-Net](#)